

青野沢川河川災害復旧工事（その1）

2016年12月 工事だより

工期：2014年12月17日 ~ 2018年3月23日

工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	53.4 %	掘削、盛土
護岸工	17.8 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、柵他
付属構造物工	27.1 %	階段他
構造物撤去工	61.7 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	27.0 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	33.5 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	46.7 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	0.0 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	79.6 %	旧橋撤去
仮設工	44.0 %	工事用道路、水替え他

トピックス

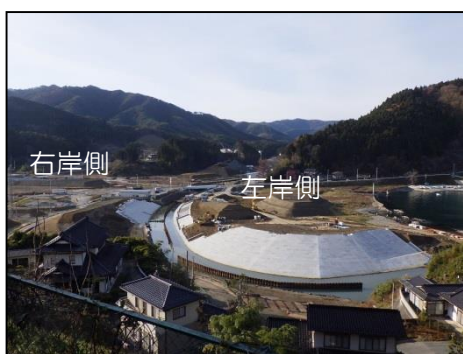
土木の日

先月の11月18日は土木の日でした。「土木」を分解すると「十一」と「十八」になることから決められています。竹中土木は、技術研究所へ地元の小学生を招待して、土木に関連するいろいろな体験教育を毎年実施しています。



自分達で作ったレンガアーチ橋を渡る小学生

施工状況



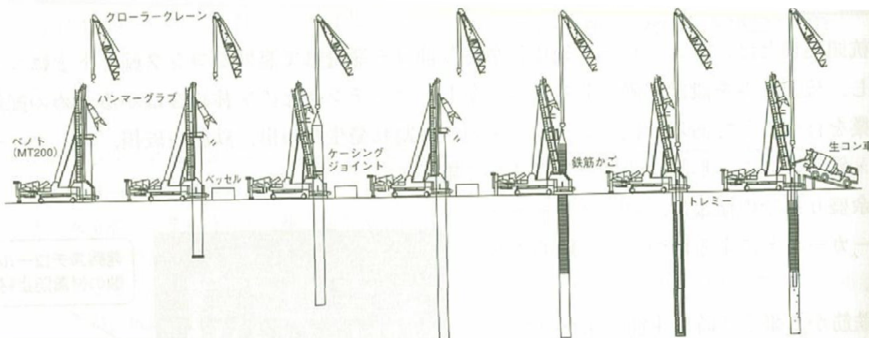
全景写真

左岸側は、新しい港橋の基礎杭の施工を開始しました。

右岸側は、プレロード盛土が完了したので、杭打ちヤードの整備に取り掛かります。

地盤中に杭を施工する方法には、予め工場などで生産されたもの（既成杭）を使う方法と現地でコンクリートを地中に打設する方法（場所打ちコンクリート杭）があります。本工事においては、場所打ちコンクリート杭を採用しています。

場所打ち杭の施工手順



①杭心セット ②掘削開始 ③ケーシングジョイント ④掘削完了 ⑤鉄筋かご ⑥トレミー管 ⑦コンクリート打設

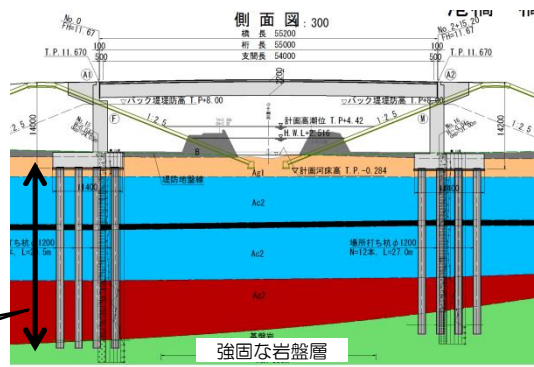
工事担当者から一言



工事担当 西村 直人

港橋の場所打ち杭工事が始まりました。杭の長さは約30mありますので、10階建てのビルと同じ長さになります。とても長いですね。大きくて非常に重たい港橋が、自重で沈下するのを防ぐため、杭を地中奥深くにある岩盤層に着底させる必要があります。

杭の長さは約30m



連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5

電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

ホームページ： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

人と地球の架け橋に



竹中土木